



「平成30年度復興祈念ウィーク」について

県では、熊本地震から2年となる4月中旬の約2週間〔4月6日(金)～4月22日(日)〕を「復興祈念ウィーク」と位置付け、各種の追悼・復興祈念行事を実施しますので、その主な取組みについてお知らせします。

【復興祈念ウィークに込めた「3つの思い」】

- ①犠牲になられた方々を追悼し、復興への決意を新たにします。
- ②熊本地震の経験に学び、次なる災害への備えを万全にします。
- ③熊本地震の記憶や教訓を全国に発信するとともに、次世代に伝承します。

【主な取組み】

- 4月14日(土) 10:00～ 犠牲者追悼式
- 4月15日(日) 10:00～ くまもと復旧・復興有識者会議
14:00～ 復興まちづくりシンポジウム【民間連携事業】
～地域コミュニティの再生から見る震災後の熊本の未来～
- 4月16日(月) 6:00～ 職員参集等訓練
9:00～ 復旧・復興本部会議
18:00～ 復興祈念コンサート【民間連携事業】

〔その他〕

- 4月9日(月)～20日(金)・・・熊本地震・東日本大震災報告写真展【民間連携事業】
上記以外の関連行事・・・・・・・県ホームページに掲載(※TOP画面に入口を設置)

- お問い合わせ先 — 熊本県庁代表 096-383-1111 ()は内線
- 有識者会議、本部会議、ウィーク全般に関する事 知事公室付 和田(3805)
 - 犠牲者追悼式に関する事 秘書グループ 犬塚・中村(3037)
 - 復興まちづくりシンポジウムに関する事 健康福祉政策課 甲斐・西村(7640)
 - 職員参集等訓練に関する事 危機管理防災課 大田黒・須崎(3426)
 - 熊本地震・東日本大震災報告写真展に関する事 知事公室付 木村(3816)
 - 広報、県HP、当日取材に関する事 広報グループ 渡辺・田方(3133)

4月14日（土）10：00～『犠牲者追悼式』

- 参加者：御遺族、各省庁、国会議員、県議会議員、市町村長、市町村議長、関係機関など400人程度を想定
- 時 間：10：00～（1時間程度を予定）
- 場 所：県庁地下大会議室
- 次 第：①黙祷
 - ②主催者式辞（蒲島知事）
 - ③来賓のお言葉（調整中）
 - ④ご遺族代表のお言葉（調整中）
 - ⑤献花
 - ※12:00からは会場を一般開放し、追悼・献花の場として提供。
- その他：追悼式終了後に、会場で知事の囲み取材を予定。

（昨年の例）



4月15日（日）10：00～『くまもと復旧・復興有識者会議』

➤参加者：一般聴講者、市町村職員、県職員 等（250人程度）

※県ホームページで聴講希望者を募集します。

掲載 URL: http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_22840.html

➤時 間：10：00～12：00

➤場 所：県庁地下大会議室

➤趣 旨：熊本地震の発生から2年を経過することから、改めて復旧・復興に向けたこれまでの歩みを振り返るとともに、熊本地震の経験と教訓を日本全体の災害対応力の向上につなげる方策、熊本が向かうべき「創造的復興」のあり方等について議論する。

➤出席者：くまもと復旧・復興有識者会議

座 長 五百旗頭 真（熊本県立大理事長）

座長代理 御厨 貴（東京大学先端科学技術研究センター客員教授）

委 員 金本 良嗣（電力広域的運営推進機関理事長）

委 員 河田 恵昭（関西大学社会安全研究センター長／特別任命教授）

委 員 古城 佳子（東京大学大学院総合文化研究科教授）

委 員 谷口 将紀（東京大学大学院法学政治学研究科教授）

〔※坂東 真理子委員（昭和女子大理事長／総長）は御欠席予定〕

熊本県知事 蒲島 郁夫

（昨年開催した時の様子）



4月15日（日）14：00～『復興まちづくりシンポジウム』

～地域コミュニティの再生から見る震災後の熊本の未来～

➤参加者：一般県民、支援団体等関係団体（280人程度）

➤時 間：14：00～17：00

➤場 所：県庁地下大会議室

➤次 第：開会

① 基調講演（60分）

- ・ 講演テーマ「阪神・淡路大震災から伝える復興まちづくり」
- ・ 講演者 NPO 法人神戸まちづくり研究所 野崎隆一氏

② パネルディスカッション（80分）

- ・ 「地域コミュニティ活動の先進事例とこれからの熊本での活用」をテーマに、東日本大震災や熊本地震での復興において地域コミュニティ活動に携わっている方々をパネリストとしてお迎えし、これからの熊本の地域コミュニティ形成のヒントを探ります。
- ・ パネリスト（7名）（予定）
 - 栗田 暢之 氏（NPO 法人レスキューストックヤード）
 - 青木 ユカリ 氏（せんだい・みやぎNPOセンター）
 - 中野 圭 氏（いわて連携復興センター）
 - 古川 元規 氏（日本JC 国土強靱化委員会）
 - 吉村 静代 氏（益城だいすきプロジェクトきままに）
 - 中坊 真 氏（九州バイオマスフォーラム）
 - 金田 英樹 氏（カセスル熊本）

③ 情報共有会議からの課題と対応策の事例発表（20分）

➤主 催：特定非営利活動法人くまもと災害ボランティア団体ネットワーク（KVOAD）

【問合せ】080-8552-7363（担当：井氏）



【講演者プロフィール】

野崎隆一氏

（一級建築士事務所株式会社遊空間工房 代表取締役）

建築士である野崎氏は、阪神・淡路大震災時のボランティア経験を機に、まちづくりコンサルタントとして活動され、兵庫県（神戸市・西宮市など）を中心に復興まちづくり支援活動をされています。

4月16日（月）6：00～『職員参集等訓練』

- 目的：災害発生時における職員の参集体制の確認、並びに全庁挙げた危機管理体制の更なる強化及び実践能力向上を図る目的で実施。
- 時間：6：00～8：30
- 参加者：本庁及び広域本部・地域振興局（以下「広域本部等」という。）の原則として全ての職員。（約3,800名）
 - ※ 警察本部・警察署職員、臨時・非常勤職員、退職者、休暇中の職員、その他所属長が訓練参加困難と判断した職員を除く。
- 訓練想定：①全ての市町村で震度6弱以上を記録 ②地震により天草一号橋が不通
- 内容：（1）情報伝達訓練・・・職員にメール、電話等で連絡
（2）職員参集訓練・・・各勤務地に参集し、その参集状況を確認
（3）職員安否確認訓練・・・未参集職員の安否確認
（4）被害情報収集・報告訓練・・・各所属における災害時の必要手順を災害対応工程管理システム（BOSS）で確認。被害の状況等を報告。



【備蓄食料を活用した取組み】

＜4月3日（火）＞

- ①新規採用職員の防災研修において、備蓄食料を試食

＜4月16日（月）＞

- ②各部筆頭課等において、備蓄食料（県職員用）の点検
- ③県庁本館ロビーにおいて、備蓄食料の展示・試食

＜4月14日（土）～16日（月）＞

- ④「くまもと防災食フェア」への出展〔場所：（仮称）花畑広場〕
（株）熊本シティエフエム主催、県後援）

【熊本地震震災ミュージアムの取組み】

＜4月9日（月）～＞

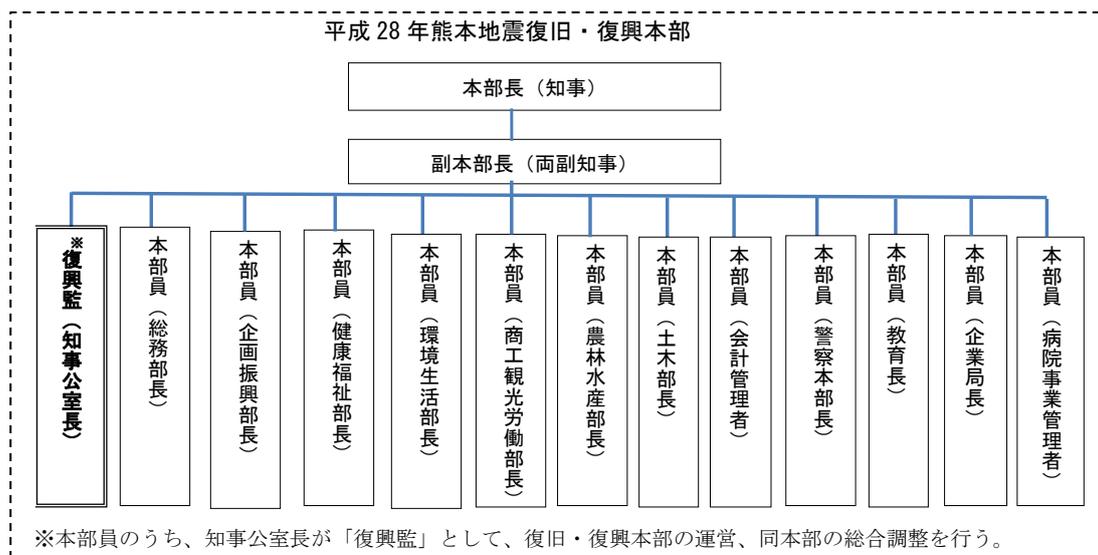
- ①熊本地震関連の映像公開・写真展示〔場所：県庁本館ロビー〕

4月16日（月）9：00～『復旧・復興本部会議』

- 参加者：復旧・復興本部員（知事、副知事、各部局長）
- 時 間：9：00～9：20
- 場 所：県庁本館5階 知事応接室
- 次 第：①黙禱
②知事挨拶
③復旧・復興の進捗状況報告

〔参考〕これまでの開催状況

- 第1回（H28.6.20） 本部会議の設置
- 第2回（H28.7.29） 復旧・復興プラン（案）の協議（その後、H28.8.3にプラン策定）
- 第3回（H28.10.3） 復旧・復興プラン改訂
- 第4回（H28.12.28） 復旧・復興プラン改訂（H28.12.27）の報告
- 第5回（H29.4.14） 復旧・復興の進捗状況報告



（開催イメージ）



4月16日(月) 18:00～『復興祈念コンサート』

- 主催者：熊本地震復興祈念演奏会実行委員会
くまもと音楽復興支援100人委員会
NPO法人オーケストラ創造 ほか有志団体
- 場 所：県立劇場コンサートホール
- 次 第：18:00～ 第一部
熊本の未来を担う子どもと若きアーティスト
「オーケストラとの共演～才能の芽を咲かせよう」
19:00～ 第二部
演奏(曲目：ベートーヴェン/交響曲第9番)
20:15 終演
- 問合せ：熊本地震復興祈念演奏会実行委員会 (080-9853-5598)

《第2回》
熊本地震復興祈念コンサート
ベートーヴェン/交響曲第9番

文化カ
KUMAMOTO CULTURAL FESTIVAL

●日時：2018年4月16日(月)～熊本地震本震から52日目～
第一部 18時～・第二部 19時～・終演 20時15分(予定)

●会場：熊本県立劇場コンサートホール

《第一部》
熊本の未来を担う子供と若きアーティスト「オーケストラとの共演～才能の芽を咲かせよう」
木崎 春菜(一般)、磨 椋平(大1)、古荘 瑛大(小5)
— 休憩 —

《第二部》
ベートーヴェン/交響曲第9番ニ短調Op.125
指揮 広上淳一(京都市交響楽団常任指揮者 兼 ミュージックアドバイザー)
ソリスト: ヴァラノ 高橋 絵理、マコブラノ 清水 華澄、テノール 城 宏志、バリトン 甲斐 栄次郎
オーケストラ: 九州交響楽団を中心に全国のプロ、熊本の音楽家も編成
台詞: 九州の有志

Alle Menschen werden Brüder
全ての人が兄弟になる

2017.4.14 熊本県立劇場 写真提供: 藤 万博

《チケット料金》S席 6000円、A席 5000円、B席 3000円、C席 2000円
(チケット発売日) 2/12(月祝) ※未就学児の入場はご遠慮ください。託児所希望の方は4月1日までに連絡ください(有料)
① 同仁堂下通店6階(11時～16時) 熊本市中央区下通1-7-11(2月13日(火)以降は電話のみ受け付け)
② チケット電話受付(13時～16時) 080-9853-5598
2/12・13・14日(3日間限定番号) 090-9654-7701・080-4324-7114

主催：熊本地震復興祈念演奏会実行委員会、くまもと音楽復興支援100人委員会、NPO法人オーケストラ創造
さいたピアノコンクール実行委員会、平成音楽大学、平成音楽大学同窓会響和会・音楽の学び舎を支援する会
協力：(公財)九州交響楽団、(公社)日本オーケストラ連盟 助成：第6回ウィーン・フィル & サントリー音楽復興祈念賞
特別協賛：名古屋宗次ホール、社会活動支援機構
後援：熊本県、熊本市、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊日、NHK熊本放送局、RKK、TKU、KKT、KAB、FMK、FM791
お問い合わせ先/080-9853-5598

4月9日(月)～20日(金)『熊本地震・東日本大震災報告写真展～あの日を忘れない2018～』

➤開催日：4月9日(月)～20日(金) ※14日(土)・15日(日)も開催
9:00～17:00

➤会場：県庁 新館・本館ロビー(本館地下通路の一部を含む)

➤主催：熊本県ユニセフ協会、熊本県、(公財)日本ユニセフ協会
(参加協力：新聞通信社 28 社、参加写真家 22 名)

- 概要：【① 報告写真展】 新館・本館ロビー全体
- ・甚大な被害状況、復興に向けた県民の活動等
 - ・県内被災地定点における、被災直後と2年後の現在の状況の比較
- 【② 熊本地震災災ミュージアム】 本館ロビー
- ・熊本地震の被害の実情や復旧・復興に向かう姿などを放映
- 【③ くまモン活動報告】 地下1階連絡通路
- ・熊本地震に対して御支援いただいた方々へ「ありがとう」と「くまもとは元気です」を伝えるため、くまモンが全国各地を行脚した時の写真を展示
- 【④ オープニングイベント】 新館ロビー
- ・4月9日(月) 12:10～12:30 頃 セレモニー
 - 12:30～12:55 頃 平成音大コンサート
- 【⑤ 講演会】 新館2階職員研修室
- ・4月14日(土) 11:15～12:45
 - ・「東日本大震災から7年～福島の人々は今～」
講師：福島県ユニセフ協会 常務理事・事務局長 佐藤一夫 氏
- 【⑥ 復興支援コンサート】 新館ロビー
- ・期間中連日 12:20 より、県内音楽グループ等による復興支援コンサートを開催。
- ※4月14日(土)、15日(日)は開催時間に変更があります。
※演者、演目等の詳細は別途お知らせします。



(撮影：毎日新聞社)